

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Kiyoshi KASATANI

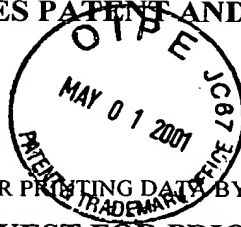
SERIAL NO: 09/783,594

FILED: February 15, 2001

FOR: OUTPUT TERMINAL APPARATUS FOR PRINTING DATA BY EMAIL

GAU: 2152

EXAMINER:



REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

| <u>COUNTRY</u> | <u>APPLICATION NUMBER</u> | <u>MONTH/DAY/YEAR</u> |
|----------------|---------------------------|-----------------------|
| JAPAN | 2000-037744 | February 16, 2000 |
| JAPAN | 2000-037745 | February 16, 2000 |
| JAPAN | 2000-037749 | February 16, 2000 |
| JAPAN | 2001-034268 | February 9, 2001 |

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
 - ☐ are submitted herewith
 - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913

Joseph A. Scafetta, Jr.
Registration No. 26,803



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/98)

09.723.214

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 2月16日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-037744

出 願 人

Applicant (s):

株式会社リコー

2000年12月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000371

【提出日】 平成12年 2月16日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00、
G06F 3/12
G06F 12/14

【発明の名称】 入出力装置

【請求項の数】 16

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 笠谷 潔

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

 【識別番号】 100060690

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 瀧野 秀雄

 【電話番号】 03-5421-2331

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012450

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9808803

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 入出力装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データの転送方法を異にする回線網に接続され、接続された回線網に対してデータの送受信を行う送受信部と、

印刷装置に対して印刷データを出力する印刷出力部と、

データの入出力を行う入出力部と、

データを蓄積する蓄積部と、

前記送受信部および前記入出力部より入力されたデータを前記蓄積部に蓄積し、また前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部、または前記印刷出力部に出力する入出力制御部と、

を備え、

前記送受信部で処理指示書が受信された場合は、前記入出力制御部が前記処理指示書の記載に基づいて転送されて蓄積されているデータを前記蓄積部よりサーチし、前記処理指示書に記載されている転送先に出力する、ようにしたことを特徴とする入出力装置。

【請求項 2】 前記回線網が F A X 回線、インターネット回線、有線 L A N 回線、またはこれらの組合せであることを特徴とする請求項 1 記載の入出力装置。

【請求項 3】 前記処理指示書には転送先に加えて印刷頁および部数が記載されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の入出力装置。

【請求項 4】 前記処理指示書に複数の転送先が記載されていることを特徴とする請求項 1, 2 または 3 記載の入出力装置。

【請求項 5】 略記号の転送先と正規の転送先との対応関係を記録した処理定義部を設け、前記処理指示書の記載された転送先が略記号で記載されている場合は前記処理定義部を参照して正規の転送先に変更するようにしたことを特徴とする請求項 1, 2, 3 または 4 記載の入出力装置。

【請求項 6】 前記処理指示書に記載された転送先に、該転送先で処理指示させる前記処理指示書の記載を新たな処理指示書として転送するようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 7】 前記新たな処理指示書に転送先が記載されていることを特徴とする請求項 6 記載の入出力装置。

【請求項 8】 前記転送先の関連、データ転送の可否等を記録した関連転送先記録部を設け、該関連転送先記録部の記録を参照して最適なルートを選択して前記処理指示書に記載された転送先を変更する最適ルート選択部を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 9】 前記蓄積部を親展用蓄積部および出力用蓄積部で構成し、前記入出力制御部が入力されたデータに付加されている識別子が親展用識別子であるときは前記親展用蓄積部に蓄積させるようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 10】 前記親展用識別子が送信元を特定できる識別子、送信先を特定できる識別子、または送信元および送信先が特定できる識別子であることを特徴とする請求項 9 記載の入出力装置。

【請求項 11】 前記入出力制御部が、前記蓄積部に蓄積されているデータに付加された識別子に基づいて前記送受信部、前記入出力部また前記印刷出力部に出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 12】 前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部または前記印刷出力部に対応するデータの形式に変換するフォーマット変換部を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 13】 前記入出力装置がファクシミリ装置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 12 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 14】 前記入出力装置がプリンタ装置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 12 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 15】 前記入出力装置がデジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せたデジタル複写機に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 12 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 16】 前記入出力装置がパーソナルコンピュータ等の情報処理装

置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 1 2 項のいずれかに記載の入出力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はデータの転送方法を異にする回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを蓄積して指定された転送先に転送または印刷装置に転送するデジタルデータの入出力装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

今日ではFAX、インターネット、LAN等により画、図形、文書等をデジタルデータに変換し印刷出力することが行われている。

またパーソナルコンピュータやワープロなどで作成された文書や図形はプリンタによって印刷出力することが行われ、更に印刷された文書、図形、画などを複写することも行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

前述した各システムや装置を別々に設置した場合は、それらの機器の設置面積が膨大となる他コストも上昇することから、例えばFAXと複写を合せ持つ複号装置が使用されている。

【0004】

しかしながら、前述した、FAX、インターネット、LAN等にアクセスし、転送されたデータまたは作成されたデータの印刷、転送および中継を行わせる装置は提供されていない。

【0005】

本発明はデータの転送方法を異にする回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを指定された転送先に転送または印刷出力を可能にする入出力装置を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の発明においては、データの転送方法を異にする回線網に接続され、接続された回線網に対してデータの送受信を行う送受信部と、印刷装置に対して印刷データを出力する印刷出力部と、データの入出力を行う入出力部と、データを蓄積する蓄積部と、前記送受信部および前記入出力部より入力されたデータを前記蓄積部に蓄積し、また前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部、または前記印刷出力部に出力する入出力制御部と、を備え、

前記送受信部で処理指示書が受信された場合は、前記入出力制御部が前記処理指示書の記載に基づいて転送されて蓄積されているデータを前記蓄積部よりサーチし、前記処理指示書に記載されている転送先に出力する。

【 0 0 0 7 】

請求項 2 の発明においては、前記回線網が F A X 回線、インターネット回線、有線 L A N 回線、またはこれらの組合せとする。

請求項 3 の発明においては、前記処理指示書には転送先に加えて印刷頁および部数が記載されている。

【 0 0 0 8 】

請求項 4 の発明においては、前記処理指示書に複数の転送先が記載されている。

請求項 5 の発明においては、略記号の転送先と正規の転送先との対応関係を記録した処理定義部を設け、前記処理指示書の記載された転送先が略記号で記載されている場合は前記処理定義部を参照して正規の転送先に変更する。

【 0 0 0 9 】

請求項 6 の発明においては、前記処理指示書に記載された転送先に、該転送先で処理指示させる前記処理指示書の記載を新たな処理指示書として転送する。

請求項 7 の発明においては、前記新たな処理指示書に転送先が記載されている。

【 0 0 1 0 】

請求項 8 の発明においては、前記転送先の関連、データ転送の可否等を記録した関連転送先記録部を設け、該関連転送先記録部の記録を参照して最適なルートを選択して前記処理指示書に記載された転送先を変更する最適ルート選択部を設ける。

【 0 0 1 1 】

請求項 9 の発明においては、前記蓄積部を親展用蓄積部および出力用蓄積部で構成し、前記入出力制御部が入力されたデータに付加されている識別子が親展用識別子であるときは前記親展用蓄積部に蓄積させる。

【 0 0 1 2 】

請求項 1 0 の発明においては、前記親展用識別子が送信元を特定できる識別子、送信先を特定できる識別子、または送信元および送信先が特定できる識別子とする。

【 0 0 1 3 】

請求項 1 1 の発明においては、前記入出力制御部が、前記蓄積部に蓄積されているデータに付加された識別子に基づいて前記送受信部、前記入出力部また前記印刷出力部に出力する。

【 0 0 1 4 】

請求項 1 2 の発明においては、前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部または前記印刷出力部に対応するデータの形式に変換するフォーマット変換部を設ける。

【 0 0 1 5 】

請求項 1 3 の発明においては、前記入出力装置がファクシミリ装置に装着させる。

請求項 1 4 の発明においては、前記入出力装置がプリンタ装置に装着させる。

請求項 1 5 の発明においては、前記入出力装置がデジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せたデジタル複写機に装着させる。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 6 の発明においては、前記入出力装置がパーソナルコンピュータ等の

情報処理装置に装着させる。

【0017】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図1～図4を参照して説明する。図1は本発明の実施例の構成図、図2は実施例のデータ蓄積動作のフローチャート、図3および図4は実施例の蓄積データの出力動作のフローチャートである。

【0018】

図1において、1、2および3は、それぞれFAX回線網、インターネット回線網および有線LAN回線網と接続され、該回線網よりデータの受信および送信を行う送受信部、4は親展用蓄積部4A、出力用蓄積部4Bおよび保管用蓄積部4Cで構成され、データを蓄積する蓄積部、5は入出力制御部、6はフォーマット変換部、7は入力部、8はデジタルデータの入出力を行うインタフェース（I/O）、9は表示部、10はスキャナ、11は印刷部、12は音声出力部、13は出力変換部、14は処理定義記録部、15は関連転送先記録部、16は最適ルート選択部、および17は処理を行うプロセッサ（CPU）である。

【0019】

つぎに、図2を参照して、蓄積部4へのデータの蓄積動作について説明する。なお図2は送受信部2と接続されたインターネット回線よりデータの受信が生じた場合を示している。

【0020】

ステップS10では、入出力制御部5は、送受信部2にインターネット回線網より受信があったか否かを判定し、判定がYESとなるまで待機する。

ステップS11では、入力制御部5は、受信したデータに処理指示書が付加されているか否かを判定し、判定がYESの場合はステップS12に移って処理指示書を図示しないメモリに記録する。

【0021】

ステップS13では、入出力制御部5は、受信されたデータに親展用識別子が付加されているか否かを判定し、判定がYESの場合はステップS14に移る。

なお親展用識別子としては送信元を特定できる送信元識別子、送信先を特定で

きる送信先識別子またはこれら両方を識別子としてもよく、またはパスワードでもよい。

【 0 0 2 2 】

ステップ S 1 4 では、入出力制御部 5 は、受信したデータを親展用蓄積部 4 A に蓄積する。

ステップ S 1 3 での判定が N O の場合はステップ S 1 5 に移り、入出力制御部 5 は、受信したデータに保管用識別子が付加されているか否かを判定し、判定が Y E S の場合はステップ S 1 6 に移り、保管用蓄積部 4 C に受信したデータを蓄積する。

【 0 0 2 3 】

またステップ S 1 5 での判定が N O の場合はステップ S 1 7 に移り、入出力制御部 5 は、受信されたデータを出力用蓄積部 4 B に受信したデータを蓄積する。

【 0 0 2 4 】

なお以上の説明はインターネットを対象としたものであるが、F A X および有線 L A N の場合は F A X 文および L A N の転送データの先頭に識別子を付加し、図 2 で説明したと同様の動作を行わせて蓄積部 4 にデータを蓄積させる。

【 0 0 2 5 】

また、入力部 7 で入力して生成されたデータ、I / O 8 を介して入力されたデータおよびスキャナ 1 0 でスキャンされたデータ等の識別子が付加されていないデータに対しては、入力部 7 より、これらのデータの蓄積に先だって識別子を入力させて図 2 で説明したと同様の動作を行わせて蓄積部 4 にデータを蓄積させる。

【 0 0 2 6 】

つぎに、図 3 および図 4 を参照して、蓄積部 4 よりのデータの出力動作を説明する。なお図 3 および図 4 は親展用蓄積部 4 A よりの出力動作を示している。

ステップ S 2 0 では、入出力制御部 5 は、識別子として送信先識別子が付加されているデータが有るか否かを判定し、送信先識別子が有るものに対してはステップ S 2 1 に移って送信先を読取る。

【 0 0 2 7 】

ステップS22では、入出力制御部5は、ステップS21で読取った送信先がFAX回線網、インターネット回線網または有線LAN回線網のいずれに属するものであるかを判定し、判定された回線網に対応してフォーマット変換部6に指令して親展用蓄積部4Aより読出したデータをフォーマット変換する。

【0028】

ステップS23では、入出力制御部5は、対応する送受信部1、2または3に指令して、フォーマット変換されたデータを送出する。

また、ステップS20での判定がNOの場合、すなわち送信先の識別子がないデータに対しては、ステップS24に移って入力部7より識別子を入力させる。

【0029】

ステップS25では、入出力制御部5は、ステップS24で入力された識別子と同じ識別子が付加されているデータが有るか否かを判定し、一致する識別子が有る場合はステップS26に移る。

ステップS26では、入出力制御部5は、ファイルより出力変換を読取り、印刷の場合はステップS27に移って印刷部11で蓄積データの印刷を行う。

【0030】

なお印刷するデータがFAXの場合は出力変換部13で帯域圧縮を解除させ、また符号文データの場合は出力変換部13で符号を文字のドットデータに展開して印刷部11で印刷が行われる。

【0031】

またステップS26での出力変換が音声の場合はステップS28に移り、音声データが帯域圧縮されていれば出力変換部13で帯域圧縮を解除し、アナログ信号に変換して音声出力部12に出力する。

【0032】

またステップS26での出力変換が画像の場合はステップS29に移り、入出力制御部5は、動画であるか否かを判定し、判定がYESの場合はステップS30に移り、動画プログラムを立上げ、ステップS31に移って、動画または静止画を表示部9で表示させ、ステップS32に移って出力されたファイルの削除が行われる。

【0033】

なおファイルを持帰りたい場合はI/O8に例えばフロッピーディスクを接続してコピーすることもできる。

【0034】

以上説明したように、送信先が識別子があるファイルは自動的にファイルデータが中継され、その他のファイルに対してはパスワードに対応する識別子を入力させ、識別子が一致するものに対してのみ出力ができるようにしているため、機密を保護することができる。

【0035】

以上は親展用蓄積部4Aに蓄積されているデータの出力を説明したが、出力用蓄積部4Bに蓄積されているデータに対しては入出力制御部5は、図3で説明したステップS24が削除されて、自動的にステップS1～S32が実行される。

【0036】

また保管用蓄積部4Cに蓄積されているデータに対しては、ステップS20～S23が削除され、ステップS24で識別子が入力されてステップS25～S32が実行される。なおステップS24での識別子の入力に際しては、蓄積されているファイルの識別子を表示部9に表示させて選択させるようにしてもよい。

【0037】

このように識別子を表示させて選択させるようにしたことにより、蓄積されているファイルのデータが公表を対象にするデータの場合、容易に必要なものを表示または印刷出力することができる。

【0038】

つぎに図2のステップS12で処理指示書が記録された場合について説明する。

図5に示すように、本社の端末コンピュータ①より15頁のデジタル文書を

②で示す本社の本願の入出力装置が装着されているカラー印刷装置で全文2部を、

③で示す本社のモノクロ印刷装置で全文10部を、

④で示す東京都内の顧客先に全文1部を、
 ⑤で示す札幌支社に1頁と3頁を1部を、
 ⑥で示す札幌支社の出張所に1頁を1部を、
 ⑦で示す札幌支社の出張所に1頁と10頁を1部を、
 送信しようとする場合が発生したとする。

【0039】

このような場合には、①の本社の端末コンピュータより図6に示すような処理指示書をデジタル文書データに付加して②の本社の本願の入出力装置が装着されたカラー印刷装置に送出する。

【0040】

図6に示すように、処理指示書は、行番号1, 5, 8, 11および18の〔 〕内に転送先のアドレスが記載され、これに続くPrint=以下に印刷頁および部数が記載されている。なおPrint=(1-15)*2は1頁より15頁までを2部印刷、Print=(1, 3)*1は1頁と3頁を1部印刷を示している。

【0041】

またPrintに続くTransfer=以下には転送先のアドレスが記載されている。

本社の入出力装置②が端末コンピュータ①より図6に示す処理指示書がデジタル文書に付加されてきた場合は、自入出力装置のカラー印刷装置より1~15頁を2部印刷する。

【0042】

また、Transferに記載されたアドレスmono@company.comに対して、①より転送されたデジタル文書に行番号5および6を処理指示文として付加し、転送する。

【0043】

また、例えば処理指示書に、例えば図6の行番号11~13に示されるように、Transfer=が記載されている場合は、記載されているアドレスに対応する行番号15および16、および18および19も付加される。

【 0 0 4 4 】

また処理指示書と共に転送されるデジタル文書のデータは P r i n t = に記載された頁のみを転送すれば、転送時間を短くできると共に回線使用料金を少なくすることができる。

【 0 0 4 5 】

また、図 6 に示すように、多くの転送先アドレスを記載する必要があり、これらのアドレスをデジタル文書の送信者が覚えているのは困難であり、容易に覚えることができる略記号で記載すると便利である。

【 0 0 4 6 】

そこで、本発明においては、図 7 の行番号 3 および 5 に示されるように略記号で転送先を記載する。

このような略記号で転送先が記載されている場合は、②の入出力装置に処理定義記録部 1 4 を設け、図 8 に示すように、略記号に対する正規のアドレスを記録させ、略記号を正規のアドレスに変更する。

【 0 0 4 7 】

また、図 6 の行番号 3 および 1 3 で示されるように、どこに設置されている装置より転送させるかも記載する必要があるが、この指定は最適転送ルートである図 5 に示される構成が理解できている者以外には記載できない。

【 0 0 4 8 】

また図 6 の行番号 3 に記載されている F A X 電話番号 0 3 - 4 4 4 4 - 5 5 5 5 を行番号 1 3 に記載されている F A X 電話番号 0 1 1 - 2 2 2 - 3 3 3 3 と誤って、図 9 に示されるように記載されることもある。

【 0 0 4 9 】

そこで、本発明では、図 1 0 の行番号 3 および 4 に示されるように、転送ルートを意識することなく、全ての転送先のアドレスを最初の装置に対する T r a n s f e r = に記載する。

【 0 0 5 0 】

図 1 0 で示されるような処理指示書が転送された場合は、最適ルート選択部 1 6 は、転送先（アドレス）の位置、データの転送が可能か否か、印刷装置の仕様

等を参照して、図 1 0 の処理指示書を最適転送ルートである図 6 に示す処理指示書に変更する。

【 0 0 5 1 】

また、図 5 に示されるように、②の装置には color @ company . com のインターネット回線アドレスと 0 3 - 6 6 6 6 - 7 7 7 7 の FAX 回線の番号（アドレス）でアクセス可能であり、図 1 1 に示すように、各回線よりのアドレスを関連転送先記録部 1 5 に記録させ、最適なルートを選択するよう処理指示書を変更する。

【 0 0 5 2 】

つぎに、図 1 2 を参照して、処理指示に基づく動作を説明する。

図 2 のステップ S 2 で処理指示書が記録されるとステップ S 4 0 が実行される。

。

ステップ S 4 0 では、入出力制御部 5 は、記録されている処理指示書の中の Transfer に転送先として、図 7 で説明したように、略記号で記載された処理定義が記載されているか否かを判定し、判定が NO の場合はステップ S 4 2 に移る。

【 0 0 5 3 】

ステップ S 4 0 での判定が YES の場合は、ステップ S 4 1 に移り、図 8 で説明した処理定義記録部 1 4 の記録を参照して略記号の転送先を正規の転送先（アドレス）に変更する。

ステップ S 4 2 では、最適ルート選択部 1 6 は、処理指示書に記載された転送ルートが最適であるか否かを判定し、判定が YES の場合はステップ S 4 4 に移る。

【 0 0 5 4 】

ステップ S 4 2 での判定が NO、すなわち、例えば処理指示書が図 9 および図 1 0 で説明したものに対しては、ステップ S 4 3 に移り、関連転送先記録部 1 5 の記録を参照して図 6 に示す最適転送ルートで転送されるよう Transfer の転送先を変更する。

【 0 0 5 5 】

ステップ S 4 4 では、入出力制御部 5 は、蓄積部 4 より転送させるファイルをサーチし、ステップ S 4 5 に移って転送先に対応する回線へのフォーマット変換を行い、ステップ S 4 6 に移って対応する回線と接続されている送受信部 1, 2 または 3 より蓄積されているデジタル文書を送出する。

【 0 0 5 6 】

なお送出に際しては本発明の入力装置が装着されている装置、例えば図 5 で示す⑤の支社（札幌）および⑧の支社（福岡）に対しては必要とする処理指示書が付加されて転送される。

また③のモノクロ印刷装置に対しては、図 6 の処理指示の行番号 6 で 1 ～ 1 5 頁を 1 0 部となっているので、1 ～ 1 5 頁のデータを 1 0 回送出して印刷させる。

【 0 0 5 7 】

ステップ S 4 7 では、入出力制御部 5 は、未転送先が有るか否かを判定し、判定が Y E S の場合はステップ S 4 4 に移り、未転送先に対してステップ S 4 4 ～ S 4 7 を実行する。

未転送先が無い場合は、ステップ S 4 8 に移って転送したデータに関するファイルを削除する。

【 0 0 5 8 】

以上説明した実施例は本発明の入出力装置がファクシミリ装置に装着した場合を想定したものであるが、プリンタ、デジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せた複合機、またはパーソナルコンピュータ等の情報処理装置に装着してもよい。

【 0 0 5 9 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によればデータ転送方法が異なる回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを、指定された転送先に転送または印刷出力することができる。

また、以上のように対処できるためコストや設置スペースを低減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施例の構成図である。

【図 2】

データ蓄積動作のフローチャートである。

【図 3】

蓄積データの出力動作のフローチャートである。

【図 4】

蓄積データの出力動作のフローチャートである。

【図 5】

本発明を説明するための図である。

【図 6】

処理指示書の具体例である。

【図 7】

処理定義で記載された処理指示書である。

【図 8】

処理定義記録部の具体例である。

【図 9】

処理指示書の具体例である。

【図 1 0】

処理指示書の具体例である。

【図 1 1】

関連転送先記録部の記録例である。

【図 1 2】

処理指示動作のフローチャートである。

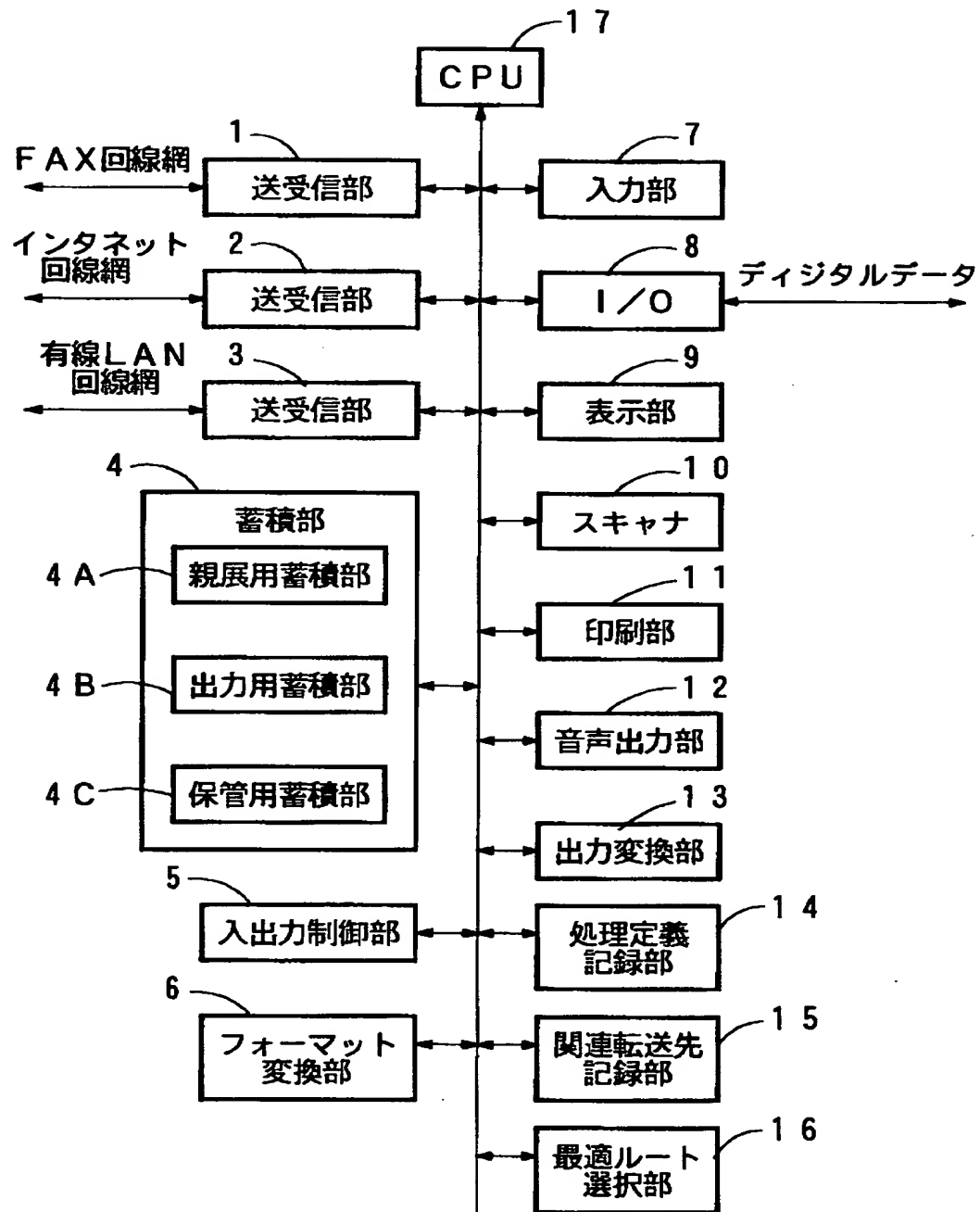
【符号の説明】

- 1, 2, 3 送受信部
- 4 蓄積部
- 4 A 親展用蓄積部

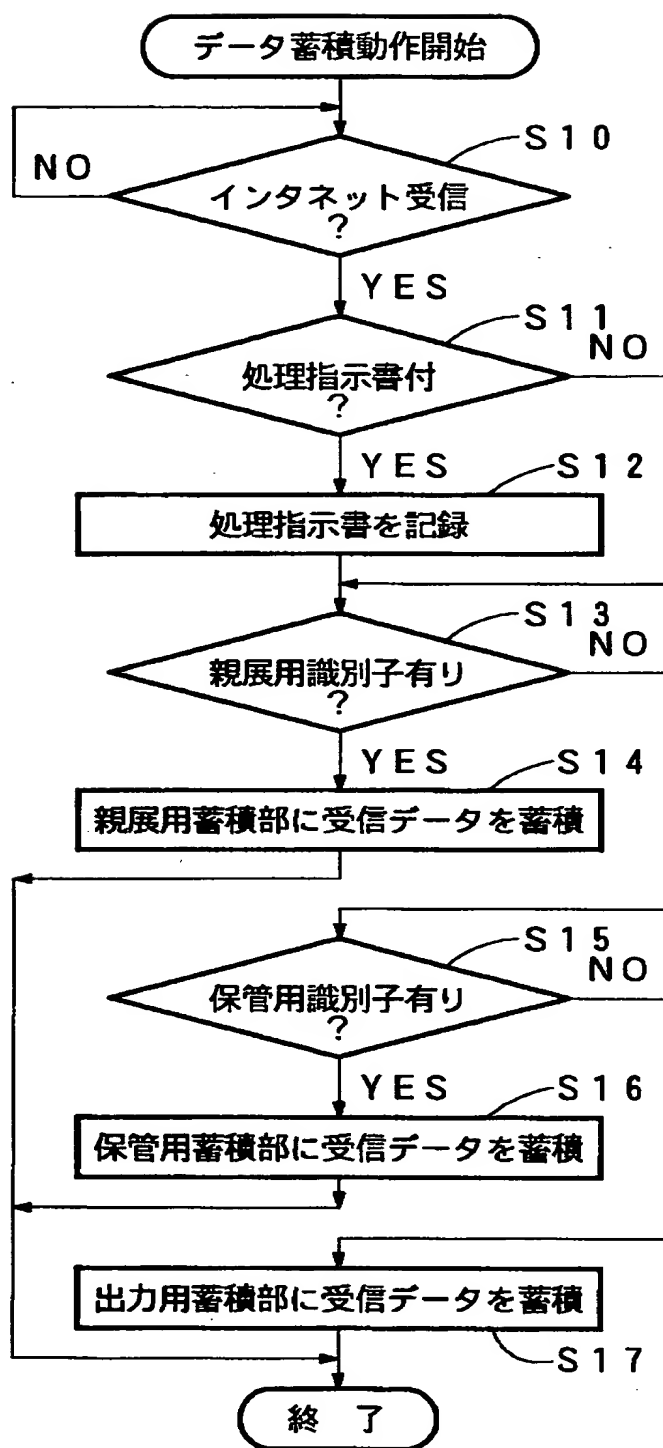
| | |
|-----|---------------|
| 4 B | 出力用蓄積部 |
| 4 C | 保管用蓄積部 |
| 5 | 入出力制御部 |
| 6 | フォーマット変換部 |
| 7 | 入力部 |
| 8 | インタフェース (I/O) |
| 9 | 表示部 |
| 1 0 | スキャナ |
| 1 1 | 印刷部 |
| 1 2 | 音声出力部 |
| 1 3 | 出力変換部 |
| 1 4 | 処理定義記録部 |
| 1 5 | 関連転送先記録部 |
| 1 6 | 最適ルート選択部 |
| 1 7 | プロセッサ (CPU) |

【書類名】 図面

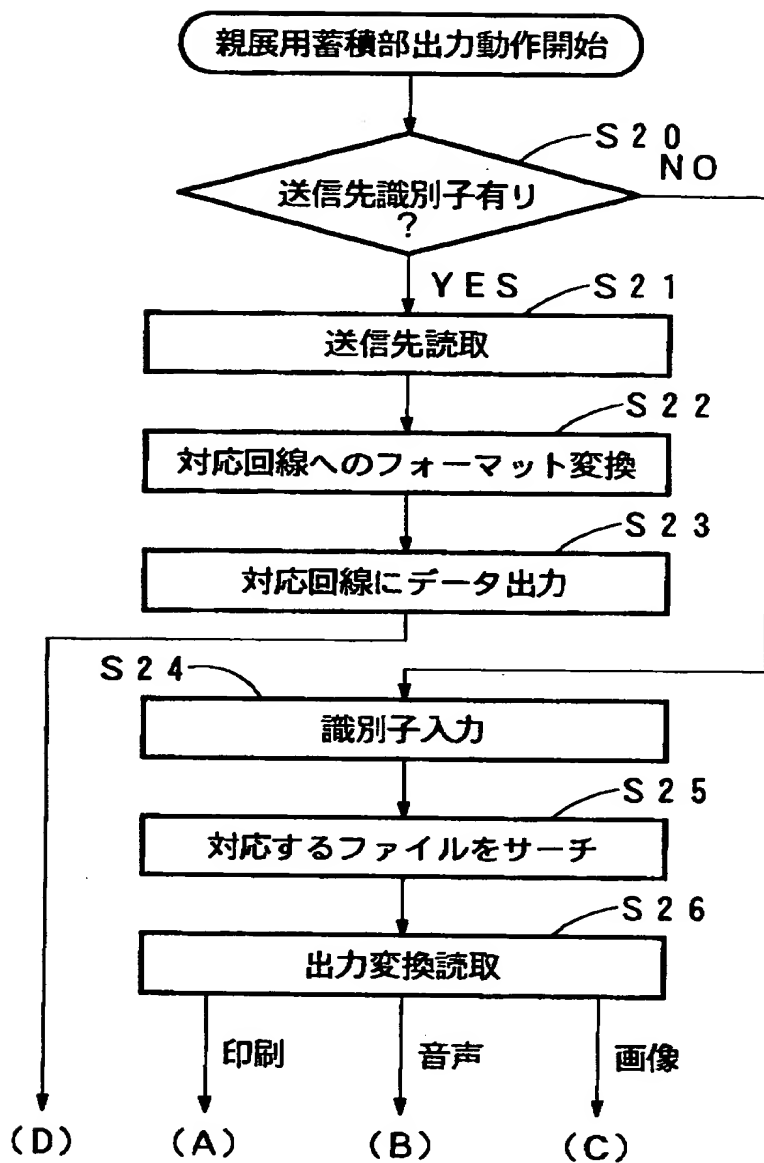
【図 1】



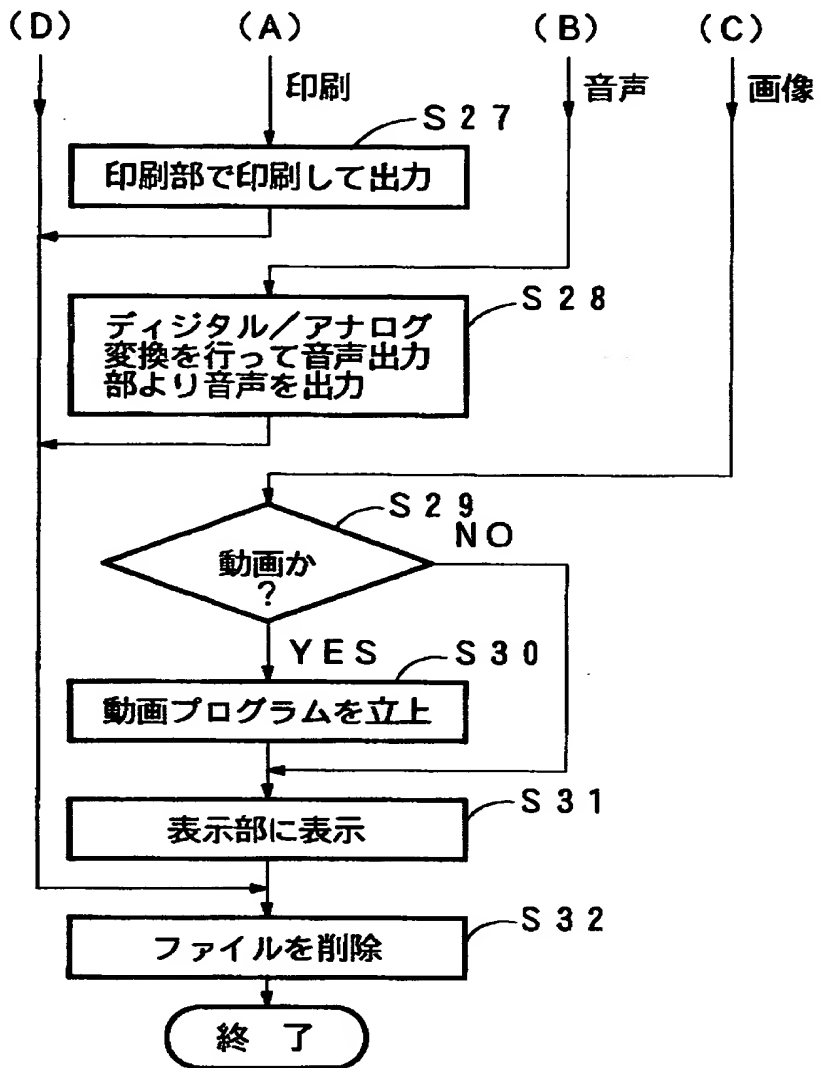
【図2】



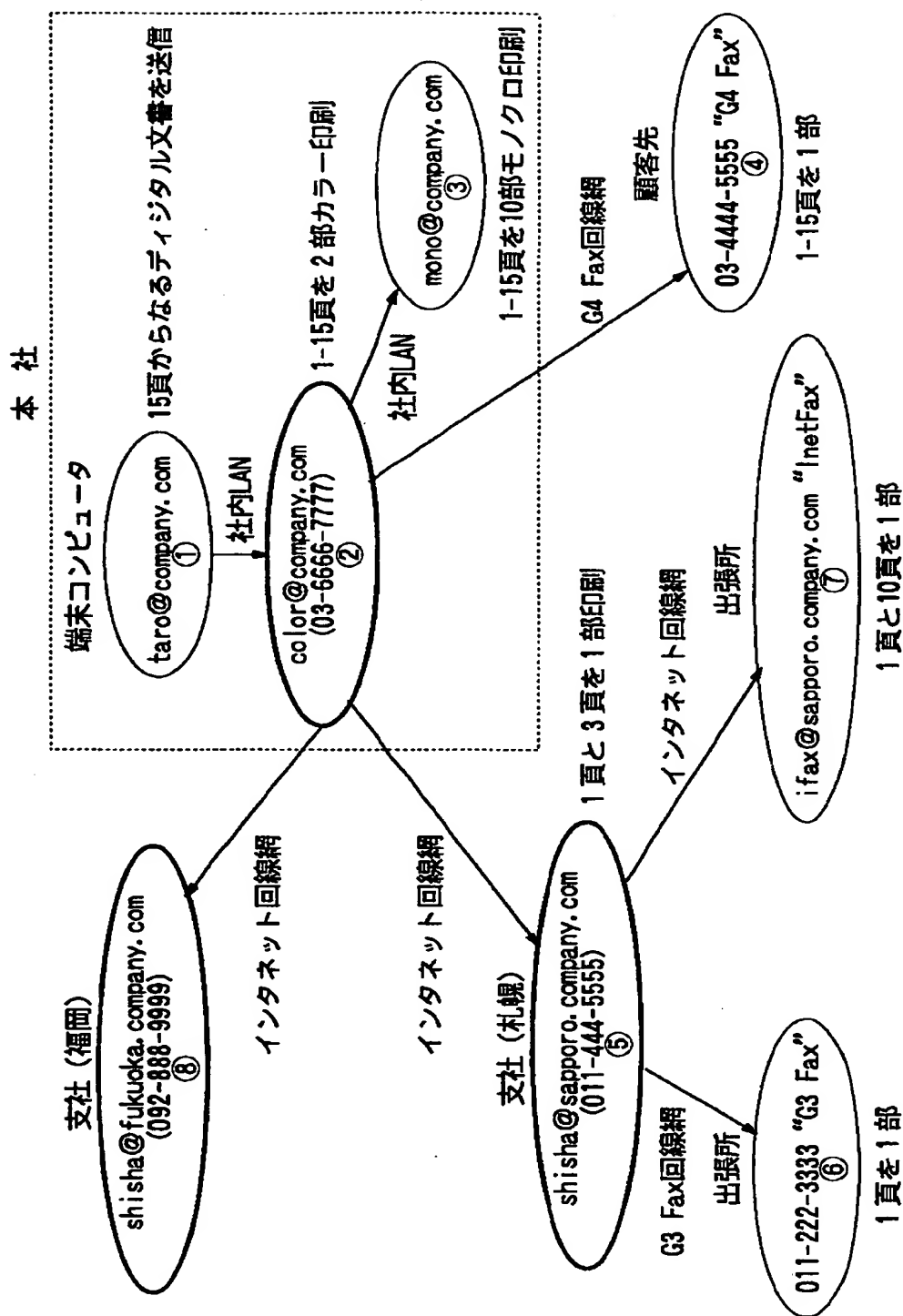
【図 3】



【図4】



【図 5】



【図 6】

| | |
|----|---|
| 1 | [color@company.com] |
| 2 | Print=(1-15)*2 |
| 3 | Transfer=mono@company.com, shisha@sapporo.company.com, 03-4444-5555 "G4Fax" |
| 4 | |
| 5 | [monor@company.com] |
| 6 | Print=(1-15)*10 |
| 7 | |
| 8 | [03-4444-5555] |
| 9 | Print=(1-15)*1 |
| 10 | |
| 11 | [shisha@sapporo.company.com] |
| 12 | Print=(1, 3)*1 |
| 13 | Transfer=011-222-3333 "G3Fax", ifax@sapporo.company.com "InetFax" |
| 14 | |
| 15 | [011-222-3333] |
| 16 | Print=1*1 |
| 17 | |
| 18 | [ifax@sapporo.company.com] |
| 19 | Print=(1, 10)*1 |

【図7】

| | |
|---|------------------------|
| 1 | [color@company.com] |
| 2 | Print=(1-15)*2 |
| 3 | Transfer=%MonoPrinter% |
| 4 | |
| 5 | [%MonoPrinter%] |
| 6 | Print=(1-15)*10 |

【図 8】

%MonoPrinter%=mono@company.com

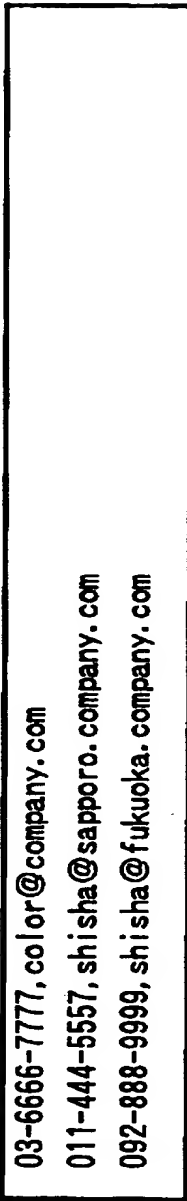
【图 9】

| | |
|----|---|
| 1 | [color@company.com] |
| 2 | Print=(1-15)*2 |
| 3 | Transfer=mono@company.com, shisha@sapporo.company.com, 011-222-3333 "G3Fax" |
| 4 | |
| 5 | [monor@company.com] |
| 6 | Print=(1-15)*10 |
| 7 | |
| 8 | [03-4444-5555] |
| 9 | Print=(1-15)*1 |
| 10 | |
| 11 | [shisha@sapporo.company.com] |
| 12 | Print=(1, 3)*1 |
| 13 | Transfer=03-4444-5555 "G4Fax", ifax@sapporo.company.com "InetFax" |
| 14 | |
| 15 | [011-222-3333] |
| 16 | Print=1*1 |
| 17 | |
| 18 | [ifax@sapporo.company.com] |
| 19 | Print=(1, 10)*1 |

【図 1 0】

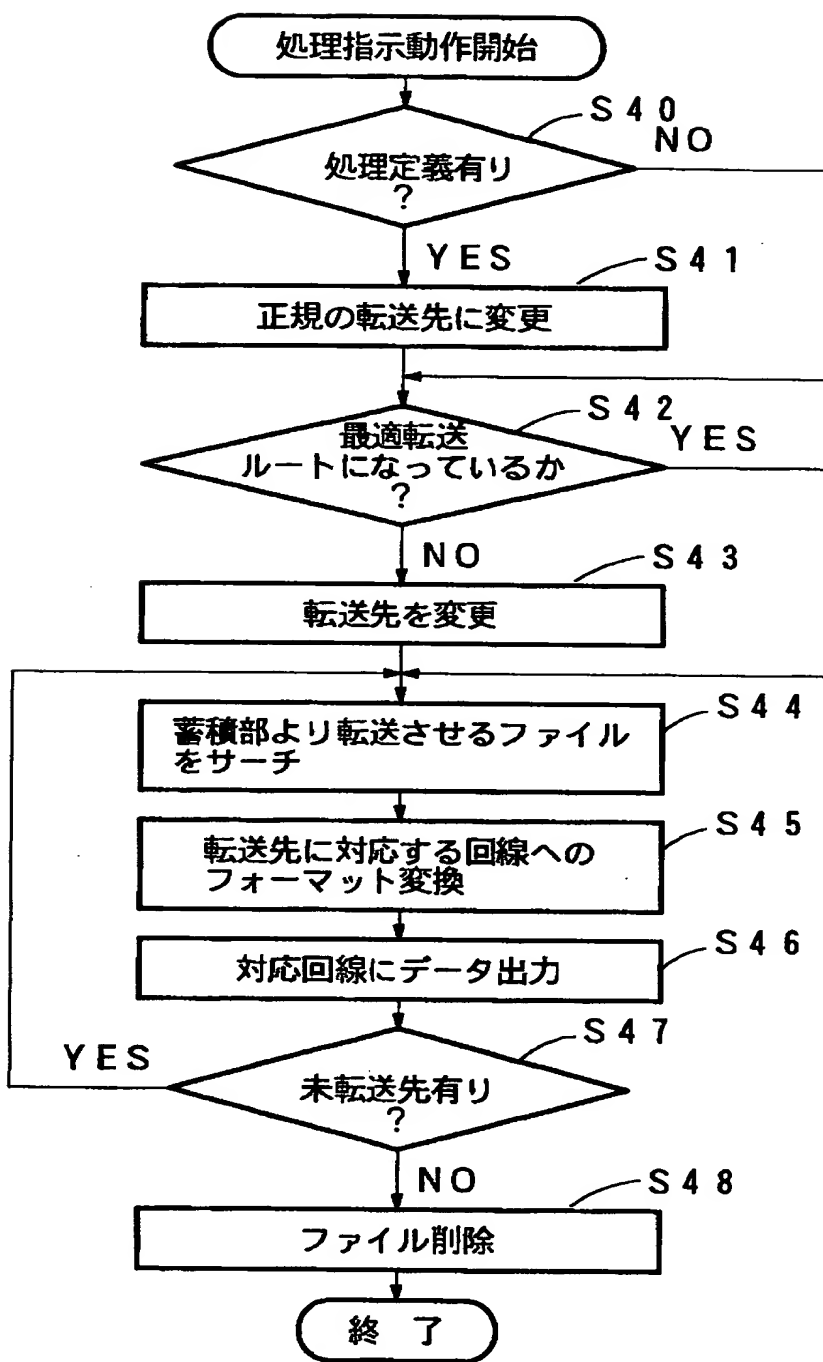
| | |
|----|---|
| 1 | [color@company.com] |
| 2 | Print=(1-15)*2 |
| 3 | Transfer=mono@company.com, shisha@sapporo.company.com, 03-4444-5555 "G4Fax" |
| 4 | Transfer=011-222-3333 "G3Fax", ifax@sapporo.company.com "InetFax" |
| 5 | [monor@company.com] |
| 6 | Print=(1-15)*10 |
| 7 | |
| 8 | [03-4444-5555] |
| 9 | Print=(1-15)*1 |
| 10 | |
| 11 | [shisha@sapporo.company.com] |
| 12 | Print=(1,3)*1 |
| 13 | |
| 14 | |
| 15 | [011-222-3333] |
| 16 | Print=1*1 |
| 17 | |
| 18 | [ifax@sapporo.company.com] |
| 19 | Print=(1,10)*1 |

【図11】



1
2
3

【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 転送方法の異なる回線よりのデータおよび入力されてデータを指定された転送先に転送または印刷出力させる入出力装置を提供する。

【解決手段】 データの転送方法を異にする回線網に接続されてデータの送受信を行う送受信部と、印刷装置に対して印刷データを出力する印刷出力部と、入出力部と、データを蓄積する蓄積部と、送受信部および入出力部より入力されたデータを蓄積部に蓄積し、また蓄積部に蓄積されているデータを送受信部、入出力部、または印刷出力部に出力する入出力制御部と、送受信部で処理指示書が受信された場合は、入出力制御部が処理指示書に記載に基づいて転送されて蓄積されているデータを蓄積部より処理指示書に記載されている転送先に出力する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

| | |
|----------|------------------|
| 1. 変更年月日 | 1990年 8月24日 |
| [変更理由] | 新規登録 |
| 住 所 | 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 |
| 氏 名 | 株式会社リコー |